

令和8年5月25日(月)10:00～12:00

1 校長挨拶

まず始めに、本協議会の役割について説明をします。社会が複雑化する中で、地域と学校が力を合わせてより良い教育を作るのがコミュニティ・スクールです。委員の皆様には、『学校運営の基本方針の承認』『学校運営に関する意見を述べること』『教職員の任用に関して意見を述べること』という3つの大切な役割をお願いしたいと思っています。

今日は、地域や関係の皆様の方の力を添えをいただき、より良い学校運営を進めていくための御意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2 授業参観

- ・児童生徒の授業の様子を参観
(部主事より説明)



3 協議

(1) 今年度の学校経営について

① 令和8年度グランドデザインについて

東部特別支援学校は昨年度で創立60周年を迎えました。本校は伊東市に2つの分校(伊東・伊豆高原)を有しています。

「元気でたくましく豊かな人」という教育目標のもと、肢体不自由教育の特性を活かし、特に「生き生きと活動する力(体)」を重視しています。経営の柱は以下の4点です。

○守る：安全で安心な教育環境の整備。伊豆医療福祉センターとの災害時協力協定など。

○育む：確かな学力。一人ひとりに合わせた授業の展開。

○つなぐ：医療・福祉・地域との連携。放課後等デイサービスとの送迎連携など。

○高める：教職員の働き方改革を通じた、安定した指導体制の維持。

② 防災・防犯対策の取組について

水害を想定した「垂直避難訓練」を実施しました。点呼に時間はかかりましたが、正確性を重視しています。また、医療的ケア児への対応として、近隣の伊豆医療福祉センターと協定を結び、災害時には本校2階へ避難し、共同でケアを行う体制を整えています。その他、近隣での事件や他校での事例を鑑み、警察と連携した不審者対策(防犯訓練)も予定しています。訪問教育においては、移動中の災害を想定したシミュレーションが不可欠です。また、家庭に対しては、大雨時の休校基準や、広域からの通学を考慮した安全確保についてメール等で周知しています。

(2) 昨年度の地域との教育活動（各学部より）

【小学部】

「自分の思いを表現する」ことを目指し学習をしています。プログラミング学習では、外部講師を招き、タブレットでロボットを動かす体験をしました。また、ハーモニカ演奏会や地域の方との正月飾り作り、アスクラロ沼津の選手との交流など、「本物」に触れる機会を大切にしています。近隣の葦山小学校、葦山南小学校との学校間交流も、少人数のペアを組むことで深い関わりを築いています。学校外の人との交流を通して、人からの働きかけを受け入れ、また、自分の思いを表現する姿が見られています。

【中学部】

「同年代の仲間と関わりを広げる」ことを目標に、伊豆の国特別支援学校、葦山中学校、長井崎中学校などの近隣校と交流しています。特にボッチャ大会や、お互いの学校紹介、合唱の披露、作品展示などを通じて距離を縮めています。また、企業から寄贈された「59ZUBAAN（的当てゲーム）」を活用した交流や、茶道・音楽の出前授業も実施しました。これらの活動が、生徒の表出の広がりや体験の深まりに繋がっています。

【高等部】

「自分らしく生きる人」を目指し、社会参画を推進しています。田方農業高校や伊豆中央高校野球部との交流、地元の保育園での活動など、主体的な関わりを重視しています。また、リサイクル活動や産業現場等での実習（就労 B 型、生活介護事業所）を通じて、卒業後の生活に向けた力を養っています。

4 意見交換

委員：「開かれた学校」としての活動を評価します。学校での経験が、卒業後の福祉現場での適応力（新しい環境に馴染む力）に繋がっていると実感しています。

委員：学校間交流は個人では難しく、学校として実施してもらえるのは大変ありがたいです。災害時には、設備が整っている学校にいる時であってほしいと思うほど、学校のサポートを信頼しています。ハード面でもソフト面でも充実した取組が進められていると感じています。

学校：福祉との融合をさらに進めるため、6 月には事業所向けの学校見学会も予定しています。

『質疑応答』

○災害時の備蓄は何日分必要か？避難行動要支援者名簿の仕組みはどうなっているか。

委員：備蓄：最低 3 日、できれば 1 週間分が理想です。災害発生から 72 時間は、行政も被害状況の確認や救助体制の構築に迫られるため、「自助」が基本となります。

支援者名簿：市で管理しており、避難支援が必要な方の情報を共有しています。ただし、福祉避難所（伊豆の国市は 6 箇所）に直接行くことはできず、まずは一般避難所で判断を受けるという段階が必要です。

個別避難計画：現在、各地区で策定を進めていますが、実効性を持たせることが課題です。

委員：避難名簿への登録制度を知らない保護者もいるため、学校からも情報提供をしていきたいです。



5 事務連絡（今後の予定）

- ・第 2 回 運営協議会： 10 月 19 日（月）
- ・第 3 回 運営協議会： 2 月 8 日（月）